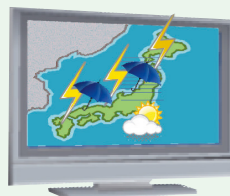


# 気象情報を有効に使おう！

## 《1》事前に気象情報や雷注意報を確認しよう！



屋外活動の前には、天気予報や雷注意報をチェックしましょう。

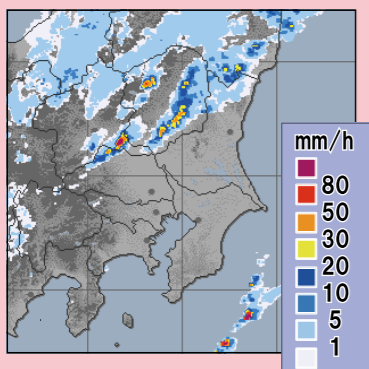
- ◆雷注意報は雷や竜巻が発生する数時間前から発表します。
- ◆雷注意報の発表中は溪流・河川敷や中州・親水公園などでの活動はさけましょう。
- ◆気象状況は、テレビやラジオのほか気象庁ホームページでも確認できます。

注意報・警報のホームページ <http://www.jma.go.jp/jp/warn/>

## 《2》ナウキャストで最新の状況を確認しよう！

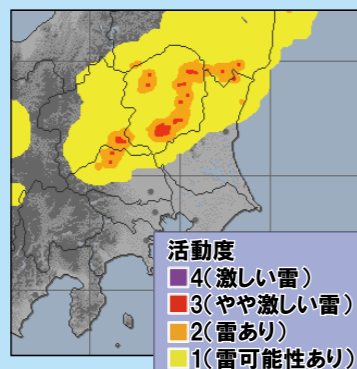
ナウキャストは、5分毎もしくは10分毎に、最新の状況から60分先まで予報します。

レーダー・降水ナウキャスト



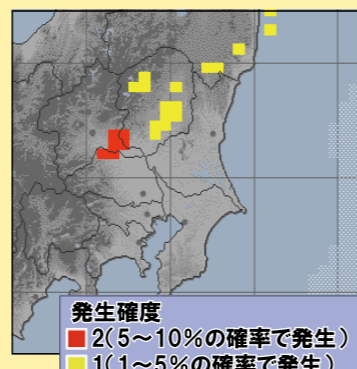
雨の降る場所や強さを表します。

雷ナウキャスト



雷活動の激しさを活動度で表します。今後雷が発生する可能性の高い領域も表します。

竜巻発生確度ナウキャスト



激しい突風が発生する可能性の高さに応じて、発生確度で表します。

屋外で活動する場合は、ナウキャストにより、強い雨・雷・竜巻の最新の状況や予報に注意しましょう。

ナウキャストのホームページ (PC) <http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>  
 ナウキャストのホームページ (携帯) <http://www.jma.go.jp/jp/bosaijoho/m/radnowc/>



## 《3》積乱雲が近づいてきたら建物に避難しよう！

こんな時、発達した積乱雲が近づく兆しです。急な大雨・雷・竜巻の危険があります。

- ◆真っ黒な雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- ◆雷鳴が聞こえたり、電光が見えたりする。
- ◆ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- ◆大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

運動場など開けた場所や水辺は危険です。すぐに避難しましょう。



気象庁

〒100-8122 東京都千代田区大手町 1-3-4 TEL: 03-3212-8341(代表) FAX: 03-6689-2917(耳の不自由な方向け)  
 ホームページアドレス: <http://www.jma.go.jp/>

このリーフレットは、印刷用の紙へリサイクルできます。

平成25年6月

# 急な大雨・雷・竜巻

## — ナウキャストの利用と防災 —

積乱雲（入道雲）の下で急な大雨・雷・竜巻が発生し、大きな被害につながります。

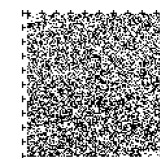


詳しくは、防災啓発ビデオ「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう!」をご覧ください。

急な大雨 検索



気象庁



音声コード

# 積乱雲に伴って、このような災害が発生します！

被害をイメージして  
回避しよう！

## 急な大雨による災害

●親水公園の急激な増水

数分後

●地下施設への流入

写真提供：神戸市

写真提供：神戸市

写真提供：九州地方整備局防災課

## 雷による災害

●落雷

まわりより高い所に落ちやすい！

↓

周囲が開けた場所は危険！

●側撃雷

木の幹や枝から雷にうたれることも！

↓

木のそばは危険！

音羽電機工業株式会社「雷」写真コンテスト提供 マネキン人形を使った側撃雷の実験 (電力中央研究所提供)

危険な場所や状況は…

●増水と雷に注意が必要

溪流・河川敷・中州・親水公園における釣り・キャンプ・バーベキュー・水遊び など

●雷に注意が必要

ゴルフ・サッカー・野球などの屋外スポーツ公園、海・山におけるレジャー など

## 竜巻による災害

●建物の倒壊

●屋根瓦が飛散

●飛来物の衝突

他にも…

- 電柱・樹木の倒壊
- テント等の飛散 など

強い竜巻では列車や自動車も転覆することもあります。

平成18年9月17日宮崎県延岡市で発生した竜巻による被害

危険な状況を避けるには…

雷から身を守るには…

竜巻から身を守るには…

1 雨が降り始めたり、空や川に異変を感じたら、**すぐに水辺から離れる**

- 上流に降った雨で、急に増水することがあります。
- サイレンの音は、ダム放流の合図です。

危険! × 水かさが増え、濁ったり、枝などが流れてくる時は危険です。

2 **浸水した場所に注意**

危険! × 大雨のときは地下室や地下街は水が流れ込み、危険です。

- 浸水した道路では、側溝が見えずマンホールのふたが外れている場合もあり危険です。
- 地下を通る道路など低い場所では通行に注意が必要です。

危険! × 車が水につかると、水圧でドアが開かなくなり危険です。

1 **雷鳴が聞こえたらすぐ避難**

- 雷鳴が遠くても、雷雲はすぐに近づいてきます。屋外にいる人は安全な場所に避難しましょう。

2 **建物の中や自動車へ避難**

危険! × 雨宿りで木の下に入るのは大変危険です。

3 **木や電柱から4m以上離れる**

- 側撃雷の恐れがあるので、木や電柱から4m以上離れてください。右の図の三角の範囲内は比較的危険は小さいですが、なるべく早く屋内の安全な場所に避難しましょう。
- 近くに避難する場所が無い場合は、姿勢を低くしましょう。

保護範囲 45° 4m以上離れる

冊子「雷から身を守るには」(日本大気電気学会編集) から引用

1 **頑丈な建物の中へ避難**

- 避難するときは屋根瓦などの飛来物に注意しましょう。
- 避難できない場合は、物陰やくぼみに身をふせましょう。

危険! × 車庫・物置・プレハブ(仮設建築物)への避難は危険です。

2 **屋内でも窓や壁から離れる**

- 家の中心部に近い、窓のない部屋に移動しましょう。
- 窓、雨戸を閉め、カーテンを引きましょう。
- 頑丈な机の下に入り、頭と首を守りましょう。

1階の窓の無い部屋へ

窓のある部屋ではカーテンを閉め、窓から離れる